



SDGs

カーボンニュートラル

GX

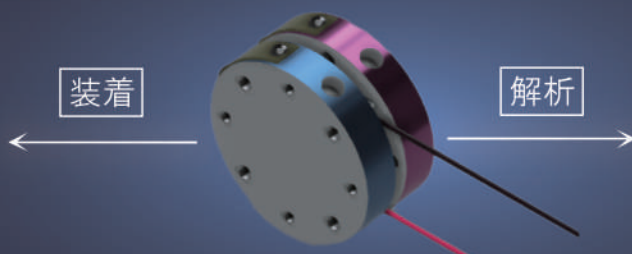
DX

# 熱を見える化する 可採熱量評価システム

排熱・余剰熱

熱源計測デバイス  
[コアハードセンサー]

可採熱量評価  
[ソフトセンシング]



計測原理：独自の技術による  
アクティブ温度センシングにより、  
熱コンダクタンス、熱流など、熱源の状態を高精度に計測。

熱源計測デバイスをコントロール、  
取得したデータを独自アルゴリズムで処理し、  
可採熱量を始めとする各種熱源データ、指標を提供。



排熱発電の採算性指標の提示、  
製造加熱プロセスのデジタルツイン化など、  
カーボンニュートラルに向けた熱ソリューション開発にお役立て頂けます。



開発中 共同研究パートナー：東京理科大学  
※特許出願中 特願 2023-136623  
発明の名称：熱コンダクタンス計測方法及び熱コンダクタンス計測システム

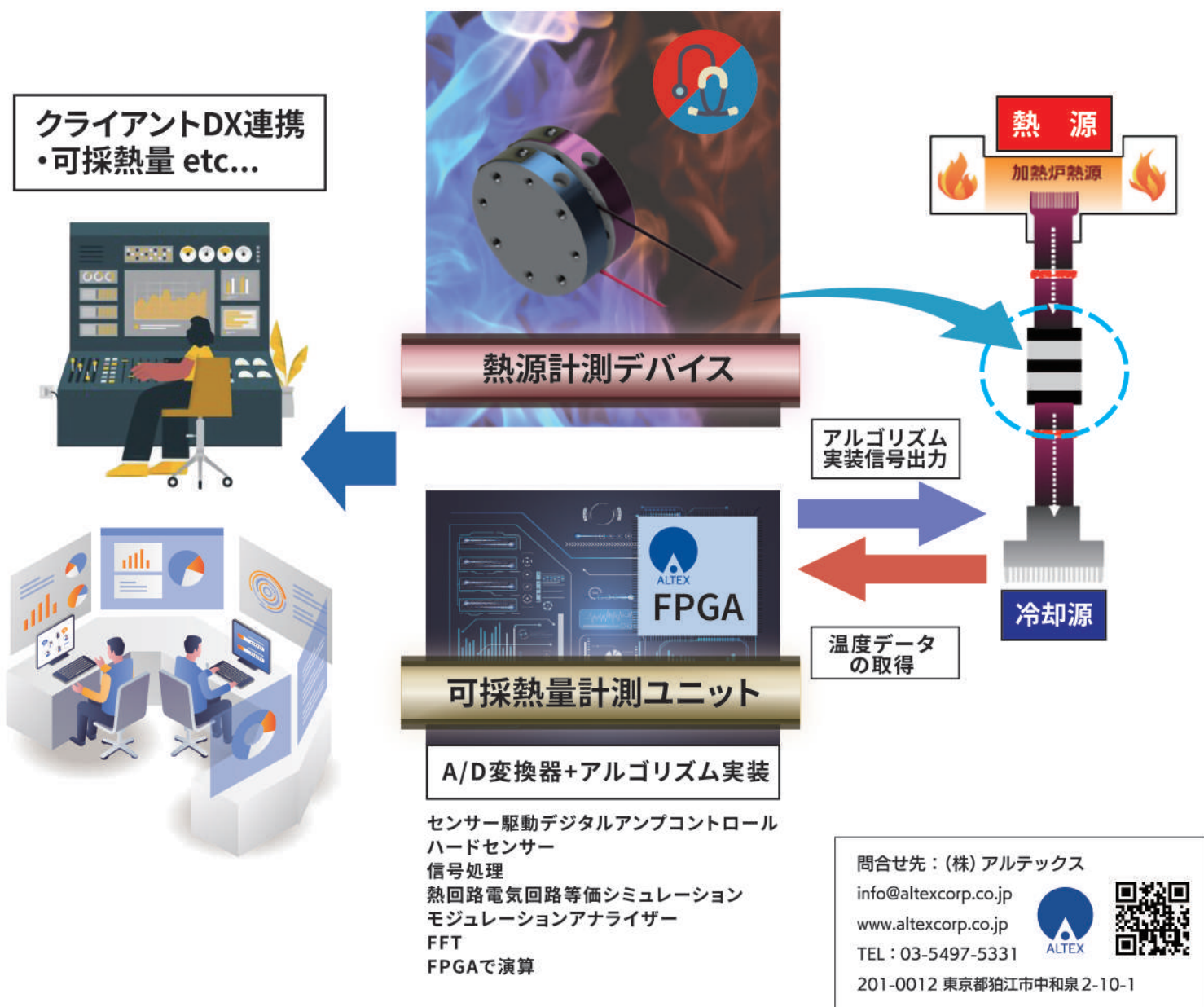


この成果の一部は、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の助成事業（JPNP21005）の結果得られたものです。

# 可採熱量評価システム

-熱源計測デバイス + 可採熱量計測ユニット-

- 使用例 : 熱コンダクタンス計測を通して、熱源状態把握、可採熱量把など
- 使い方 : 熱源-冷却源間に熱源計測デバイスを挿入、従来の熱流センサーのイメージで使用
- 使用温度範囲 : 20°C~700°C (最終開発目標)
- 特徴 : 従来には無い、能動的に計測対象を探知するアクティブセンシングを採用
- 原理 : 1. 熱源計測デバイスにて温度センシング  
: 2. 内蔵素子へ電流を与え素子特徴である発熱・吸熱反応を利用し熱源の状態を変化させる  
: 3. その温度応答を再センシングしソフトウェア処理にて熱源状態を検知



問合せ先：(株)アルテックス

info@altexcorp.co.jp

www.altexcorp.co.jp

TEL : 03-5497-5331

201-0012 東京都狛江市中和泉 2-10-1



センサー駆動デジタルアンプコントロール  
ハードセンサー  
信号処理  
熱回路電気回路等価シミュレーション  
モジュレーションアナライザ  
FFT  
FPGAで演算